

平成28年度HW総合評価主要三指標進捗状況(中間報告)

福島労働局職業安定課

		福島	平	会津若松	郡山	白河	須賀川	相双	二本松	局計
就職件数 (常用)	年度目標(件)	6,332	6,757	5,940	6,418	2,493	2,677	2,463	1,729	34,809
	第1三半期目標(件)	2,400	2,542	2,166	2,408	966	1,048	871	612	13,013
	第1三半期実績(件)	2,145	2,172	1,818	2,213	809	826	946	549	11,478
	第1三半期達成率(%)	89.4	85.4	83.9	91.9	83.7	78.8	108.6	89.7	88.2
	年度目標に対する進捗率(%)	33.9	32.1	30.6	34.5	32.5	30.9	38.4	31.8	33.0
充足件数 (常用)	年度目標(件)	6,372	6,419	5,512	6,710	2,322	2,293	2,729	1,650	34,007
	第1三半期目標(件)	2,437	2,433	2,029	2,558	906	854	977	561	12,755
	第1三半期実績(件)	2,228	2,030	1,711	2,279	770	727	1,002	531	11,278
	第1三半期達成率(%)	91.4	83.4	84.3	89.1	85.0	85.1	102.6	94.7	88.4
	年度目標に対する進捗率(%)	35.0	31.6	31.0	34.0	33.2	31.7	36.7	32.2	33.2
雇用保険受給者の早期再就職件数 (数値は1ヶ月遅れ)	年度目標(件)	1,439	1,773	1,136	1,788	534	621	537	521	8,349
	4月～6月目標(件)	425	501	337	536	178	179	177	172	2,505
	4月～6月実績(件)	451	513	376	471	157	160	171	144	2,443
	4月～6月達成率(%)	106.1	102.4	111.6	87.9	88.2	89.4	96.6	83.7	97.5
	年度目標に対する進捗率(%)	31.3	28.9	33.1	26.3	29.4	25.8	31.8	27.6	29.3

実施状況

福島	就職件数	第1三半期の目標数2,400件に対して実績は2,145件と255件下回り、進捗率は89.4%であった。今後は、目標数の達成に向け、年度当初の繁忙期等で実施が低調であった面接会の開催や求職者への求人情報の提供などを重点的に取り組む。 なお、ミスマッチの解消にむけ、現在、求職者及び求人者双方へのアンケートを実施しており、その結果を取りまとめた資料を活用して就職件数の増加に努める。
	充足件数	第1三半期の目標数2,437件に対して、実績は2,228件と209件下回り、進捗率は91.4%であった。 今後は、目標数への達成に向け、効果的な求人充足会議の運営や求人者に対する魅力ある求人票づくりへの働きかけなどに取り組む。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	4月から6月までの目標数425件に対して、実績は451件と26件上回り、進捗率は106.1%であった。 8月からは、雇用保険受給者に対する初回講習会(求職活動の仕組・仕方やハローワークの上手な利用の仕方などを説明)の開催方法の見直し及び内容の充実を図ったことから、早期再就職件数のさらなる増加に努める。
平	就職件数	求職者担当者制による求人情報の提供、事業所面接会、再就職支援セミナーなどの求職者への支援策を積極的に実施したが、新規求職者数、新規求人数が前年度に比べて減少するなどの影響もあり、目標を達成することはできなかった。 今後は、求職者の採用可能性を高めるための個別支援と提案型紹介を積極的に推進するなどマッチングの強化に向けた取組みを実施していく。
	充足件数	求人充足会議の充実、事業所画像情報の収集、事業所就職面接会の開催等充足を進めるための取組みを実施したが、新規求職者等が前年度に比べて減少するなどの影響もあり目標を達成することはできなかった。 今後は、これまでの取組に加え、求職者からの希望の多い正社員求人の確保に向けた取組みを強化していく。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	求職者担当者制、早期再就職支援コーナーへの誘導、再就職支援セミナーへの誘導、再就職手当の周知などに積極的に取組んだ結果、4月から6月においては目標値を達成することができた。 今後も雇用保険受給者への就職支援に積極的に取り組むとともに、早期再就職の意欲の喚起を目的とした「再就職手当活用目安表」の活用など現在実施している取組みを強化していく。

会津若松	就職件数	<p>求職者担当者制や紹介スキル向上のための取組み、ミニ面接会の開催等により求職者の就職促進に努めた。第1三半期の就職件数の実績は、1,818件であり、目標を348件下回る結果であった。新規求職者数が前年同期より475人減少したことや在職求職者の割合が増加したことも就職件数減少の要因の一つと思われる。</p> <p>今後は、求職者が減少傾向にあることから、積極的な職業相談窓口への誘導を図ること及びターゲットを絞った無効求職者の掘り起し並びに潜在的求職者の求職登録を促す。さらに引き続き、求職者への個別支援(求職者担当者制や個別求人開拓等)を強化して積極的・能動的マッチングを進め、また、紹介スキル向上のための取組みのさらなる充実によりマッチングの精度を高め、就職促進を図る。</p>
	充足件数	<p>事業所画像情報の収集、求人・紹介部門の連携(互惠の輪プラン)等によるわかりやすい求人票の作成や求人充足会議の充実等により、求人の充足促進に努めた。</p> <p>第1三半期の充足件数の実績は、1,711件であり、目標を318件下回る結果であった。新規求人数が前年同期より140件減少したのに対し、新規求職者数は475人減少したことも充足件数の減少の要因の一つと思われる。</p> <p>今後は、求人数が高水準ではあるがやや減少傾向となり、求職者が大幅に減少しているため、求人充足会議を通じ有効求職者のニーズを把握し、事業所訪問や求人条件緩和指導を積極的に行い、魅力ある求人の確保、積極的・能動的マッチングに努め、さらなる求人の早期充足を図る。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>再就職セミナーへの参加勧奨、認定日全員相談、給付制限期間中の職業相談、早期再就職コーナーによる担当者制での支援等により、雇用保険受給者の再就職促進に努めた。</p> <p>4月から6月の雇用保険受給者の早期再就職件数は376件であり、目標の337件を39件上回る結果となった。受給者が前年同期比2.3%減少しているものの、就職支援ナビゲーターを中心に担当者制等の手厚い支援や認定時における積極的な求人情報提供等により雇用保険受給者の早期再就職が促進された。</p>
郡山	就職件数	<p>求職者の希望条件・経験・資格等の正確な把握に努め、きめ細やかな職業相談・職業紹介により再就職の促進に努めている。特に求職活動でハローワークへの支援期待度が高い求職者には、求職者担当者制による集中的な個別支援や正社員求人を主とした応募求人への積極的な提案、応募書類の作成支援など、求職者と求人者との積極的なマッチングとなるよう取り組んでいる。</p> <p>今後は、求職者担当者制の効果が高いことから職業相談部門全体で取り組む。</p>
	充足件数	<p>求人票記載内容の充実、特に求職者が就職後の仕事内容をイメージできるようなわかりやすく魅力ある求人票の作成支援を行っており、応募先選定には求人票以上の事業所情報提供が有効なため、作業風景の画像情報・事業所での働く社員の声を求職者へ伝える「社員アンケート」の収集・提供にも取り組んでいる。</p> <p>また、求人充足会議で選定する良質求人は、窓口での積極的な情報提供、マッチング作業による適格求職者の紹介等、求人のフォローアップにも努めている。</p>

	雇用保険受給者の早期再就職件数	雇用保険受給者の早期再就職を促進するには、早い段階からの求職活動を開始する必要があり、雇用保険説明会と同時開催していた初回講習会を約10日早く分離開催し、求職活動方法や当所が実施する就職支援メニューの紹介等を行い早期活動開始に資するよう取り組んでいる。また、その後の初回認定日に各種支援メニュー(セミナー受講・求職者担当者制)の積極的な利用を促す相談を実施している。なお、9月より初回認定日に早期再就職した場合の再就職手当試算額を提示する取り組みを始めた。
白河	就職件数	第1三半期の就職件数966件の目標達成のために「マッチング強化求人を選定と求人情報」「求職者担当者制の実施」「求職票・求職管理情報の充実記載」等を積極的に取組んだが、就職件数809件(達成率83.7%)と目標達成には至らなかった。紹介成功率の低下が主な原因と考えられることから、求人・求職マッチングの精度向上や就職支援メニュー選択の適格性の強化を図ることで、紹介成功率の向上につながるよう取り組むこととする。
	充足件数	第1三半期の充足件数906件の目標達成のために、「求人充足会議の充実」「開拓求人に対するフォローアップ」「求人開拓による正社員求人の確保」「事業所画像情報の収集」「ミニ面接会の開催」等を積極的に取組んだが、充足件数770件(目標達成率85.0%)と目標達成には至らなかった。求人充足会議が定期的に行えなかったことが主な要因として考えられる。今後は、定期的に充足会議が開催できるよう体制整備を行い、求人部門と職業相談部門の連携強化のうえでマッチングを図り、求人充足の向上につながるよう取り組むこととする。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	4月から6月の雇用保険受給者の早期再就職件数178件の目標達成のために、「求職者担当者制による就職支援プログラムの実施」「再就職セミナー受講による早期再就職支援の実施」「給付制限中の者に対する窓口相談の勧奨」等を積極的に取り組んだが、就職件数157件(目標達成率88.2%)と目標達成には至らなかった。求職者担当者制による対象者の確保ができなかったこと、給付制限期間中の窓口相談の勧奨不足等が要因として考えられることから、求職者担当者制による対象者の確保と就職支援メニュー選択の適格性の強化及び給付制限期間中の窓口相談誘導について積極的に取り組む。
	就職件数	年度目標に対する進捗率は30.9%、第1三半期の達成率は78.8%と目標値を下回った。求職者の減少に加え、再来所回数のない在職求職者が多く、紹介件数が伸びなかったことが一因である。今後、就職件数の増加を図るため有効求職者に対する紹介率を意識し、ハローワーク来所者の相談窓口への誘導を強化するとともに、来所しない者については、緊要度を見極めたうえで求人情報提供による来所勧奨を徹底する。また、情報提供するも応募に至らない場合は、理由を詳細に聞き取りし、求職者ニーズを踏まえた計画紹介を実施する。このほか、事業所情報の把握によるマッチング精度向上のため、求人部門・職業相談部門が連携した事業所訪問を積極的に実施し、就職件数の増加につなげたい。

須賀川	充足件数	<p>年度目標に対する進捗率は31.7%、第1三半期の達成率は85.1%と目標を下回った。求職者の減少に加え、人手不足職種を中心に充足件数が伸びなかったことが一因である。</p> <p>今後、充足件数の増加を図るため、有効求人に対する紹介率を意識し、未紹介等求人のフォローアップを徹底する。また、求人開拓は、接触事業所を求職者ニーズの高い製造業と正社員求人に重点をおいた取組みを行い、良質求人の確保に努める。さらに、求人担当者制を導入し、主体性を持った求人者サービスを実施するとともに求人検索機の印刷枚数を活用した求人情報誌(印刷されているが未充足等の求人を対象)を活用し早期充足につなげたい。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>4月から6月までの達成率は89.4%で目標を下回った。前年度に比べ受給資格者数が22.8%減少しており、高年齢者の受給資格者の増加や自己都合退職者でも早期就職ではなく、「じっくり検討」の意向を有する受給者が多かったことが一因である。</p> <p>今後、受給資格決定時や初回講習時、また初回認定日において早期就職のメリットの説明を行い、求職者担当者制による支援、再就職セミナーの受講勧奨を行い早期再就職の意欲喚起を図り、来所勧奨による積極的なマッチングと情報提供、またはプラスワンサービスを意識した職業相談を行い早期就職につなげたい。</p>
相双	就職件数	<p>求職者担当者制により、求職者が求める適合求人についての電話連絡やそれに伴う予約相談の実施、必要に応じた応募種類の作成指導、模擬面接、適正検査の実施など、きめ細やかな就職支援を行った結果、第1三半期の目標871件に対し、実績は946件となり目標を達成することができた。今後も職員1人あたり常時5人以上の担当求職者を受け持つことを徹底することや、能動的マッチングを積極的に行うことにより就職につなげて支援期間を短縮し、より多くの求職者を担当者制の対象者として受け入れ、就職件数の増加を図る。</p>
	充足件数	<p>ハローワークミニ面接会は、正社員求人や人手不足業種の事業所を選定して実施しており、求人の周知等求人の充足に間接的な効果もあり、第1三半期の目標977件に対し、実績は1,002件となり目標を達成することができた。当該面接会は、求人事業所サービスとしての期待度も高いことから、引き続き取り組んでいく。また、積極的に事業所画像情報の収集に努め、庁内に求人票とともに画像を掲示するなど展示の仕方にも工夫し、求人票だけではイメージできない仕事内容等を求職者に提供する取組を継続して実施し、充足件数の増加を図っていく。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>再就職セミナーへの受講勧奨、早期再就職のメリットの説明・周知などを雇用保険受給の早い段階から取り組んだが、4月から6月の目標である177件に対して、171件の実績にとどまった。</p> <p>今後は、今までの取組みに加えて、再就職の時期ごとの再就職手当の具体的な額を個別に資料で説明する等、求職活動の早期開始によるメリットを訴えかけて、早期再就職促進を図る。また、早い時期に求職者担当者制の対象者として受け入れ、求職者ニーズを的確に把握し、求人情報を積極的に提供することによりきめ細やかな支援を実施する。</p>

二本松	就職件数	<p>第1三半期の就職件数は、612件の目標に対して549件(達成率89.7%)と目標を達成することはできなかった。原因としては、今期の新規求職申込件数は1,477件(前年同期1,570件)で前年同期比▲5.9%等、新規求職者数の減少や雇用保険の受給者実人員の減少(平成28年7月の受給者実人員291名 前年同月353名 ▲17.6%)により認定日の相談件数も減少し、紹介件数が伸び悩んだことが一因である。</p> <p>今後は毎朝実施している求人充足会議で選定した激アツ求人(正社員求人)、マッチング求人を中心に紹介担当者全員が電話や郵送による情報提供を強化し、常にマッチングを意識した職業相談を実施し紹介成功率アップを目指す。求職者担当者制については、対象者53名中紹介就職が37件で就職率も69.8%と高水準だったため、今後はさらに対象者を拡大し支援を継続していく。また、企業ミニ面接会については、今期5回開催で参加者19名のうち紹介10件(うち就職4件)と成果が見られたことから引き続き実施していく。</p>
	充足件数	<p>充足可能性が高い求人である正社員求人(激アツ求人)の掲示板への掲示や求人部門と職業紹介部門との情報共有により積極的なマッチングを図り、第1三半期の充足件数561件の目標数に対して、実績は531件(達成率94.7%)で未達成となった。状況分析としては新規求職者の減少に伴い、有効求職者も併せて減少傾向が続き、紹介件数自体も減少するなど正社員求人はあるものの充足件数が伸び悩んだ。また、求人条件の緩和についても人手不足である建設業や運輸業を中心に即戦力を求めることが多く、免許・資格や経験の緩和指導に苦慮した。10月から正社員実現加速プロジェクトにおける正社員就職強化月間に向けて就職希望者の多い製造業や事務職の求人開拓を重点に行い、常用求人の充足を図る。さらにミニ企業説明会・就職面接会を継続実施して目標達成を目指す。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>4月から6月までの雇用保険受給者の早期再就職件数は、目標数172件に対して、実績は144件(達成率83.7%)で目標数を達成していない。4月、5月は目標を達成したが、6月の受給資格決定件数や受給者実人員の低下等により紹介件数が減少したことが一因である。</p> <p>今後は、認定日の全員相談や給付制限のかかる受給者に対しては、給付制限期間中における来所日を従来1回設定していたところを2回に増やし、窓口相談勧奨の強化に努め、紹介につながるような職業相談を実施する。また、雇用受給者に対する求職者担当者制についても取組を強化していく。職業相談部門の管理者が求職者担当者制候補者名簿に記載するとともに面談する職員を割り振り、担当職員は事前に求職者のニーズを把握しマッチング可能な求人を準備するなど能動的な職業相談を実施していく。さらに電話や郵送によるマッチング情報提供も強化し、紹介率、就職率のアップを図る。</p>
	就職件数	<p>年度目標に対する進捗率は33.0%、第1三半期の目標値に対する達成率は88.2%であった。新規求職者が前年同期比845名減少する中、就職件数も1,308件減少した。</p> <p>今後、目標達成に向け、マッチングの効果的な取組みである求職者担当者制や紹介スキル向上の取組みを引き続き積極的に取り組んでいく。</p> <p>また、キャリアコンサルティング研修を実施し職員の資質向上を図る。</p>

福島労働局	充足件数	<p>年度目標に対する進捗率は33.2%、第1三半期の目標値に対する達成率は88.4%であった。 今後、目標達成に向け、求人充足会議の充実及び活性化を図り、求職者ニーズの高い正社員求人・製造業求人の確保、事業所画像情報の収集、ミニ面接会・管理選考等の実施により充足件数の向上を図る。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	<p>年度目標に対する進捗率は29.3%、4月～6月目標値に対する達成率は97.5%であった。 今後、目標達成に向け、就職意欲の喚起と就職活動の知識・技能の習得を目指す再就職セミナーの受講勧奨を引き続き進め、また、雇用保険受給者の給付制限中の職業相談の来所勧奨を積極的に進める。</p>